

平成20年4月4日
東北電力株式会社

東通原子力発電所1号機における
作業員への放射性物質の付着について

東通原子力発電所1号機（平成20年3月22日より第2回定期検査を実施中）において、4月4日11時35分頃、残留熱除去系^{*1}の弁点検作業に従事していた協力会社作業員が、作業終了後、管理区域から退域する際、体表面ゲートモニタで身体サーベイを実施した結果、左手の手のひら表面に、放射性物質の付着を確認しました。

その後、直ちに付着していた放射性物質を除去しました。

また、作業員が立ち入ったルート of 床面等については、スミヤ法により汚染がないことを確認しました。

本事象による環境への放射能の影響はありません。

なお、本事象は、「東通原子力発電所におけるトラブル等対応要領」に基づくC情報であり、法令に基づく報告事象ではありません。

以上

*1. 残留熱除去系とは、原子炉停止後の崩壊熱を除去する系統